

## 第36回日本老年医学会総会参加報告

医療法人社団正啓会成和病院 長谷田 祐作

### はじめに

平成6年9月第36回日本老年医学会総会は東京都内で開催された。会場は千代田区平河町「日本都市センター」である。東京都は久しく御無沙汰していたが病院の御好意により参加する機会が与えられたので、その概要を述べたい。

### 会場、日程など

図1に学会・総会の配置図を示した。また表1に一般演題の日程表を記した。

### 主要行事など

第1日の午後1時より学会総会が開催された。続いて優秀論文賞授与式が行われ次いで

法人設立総会が催され無事終了、事務手続を残すのみとなった。

今後、当学会は法人として確かな基盤の上に運営されることとなり先ずは目出度く、将来一層の発展が期待されるのである。

午後2時30分より学会長・蔵本築氏（東京都老人医療センター）が「加齢と疾病」と題

表1

日程表および座長一覧表

9月28日 (第1日)					
第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
8:55 開会の辞					
9:00 虚血性心疾患 I (11~10) 上松藤啓男 真藤 邦人 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (11:40)	脳 葉 I (21~19) 本間 昭 東海 英夫 武田 雅夫 中村 重信 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (11:32)	糖尿病 II (40~63) 野島 高平 佐古 伊藤 船谷 徳和 井口 紹久 井藤 英智 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (12:12)	リハビリテーション (64~80) 木村 博光 上田 勉 森田 武紀 江藤 文夫 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (11:40)	血 液 (84~98) 白倉 卓夫 梅田 正法 森 義由英 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (11:40)	疫 学 (104~117) 松田 博 土原 義典 健康増進 (113~117) 山田智恵子 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (10:52)
12:00 評議員会 (12:00~13:00 会場: 全共産ビル6階マツサザロン)			昼 食		
9月29日 (第2日)					
第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
9:00 会長挨拶演題 (118~135) 大友 英一 小澤 利男 五島謙一郎 熊原 謙一 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (12:00)	脳血管障害 (136~154) 野田 豊 藤島 正敏 山之内 博 秋口 一郎 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (11:40)	循環器 II (155~168) 大川真一郎 西尾 一郎 久嶋 義雄 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (10:52)	脳 葉 II (169~181) 岩本 俊彦 青葉 安里 宇高不可思 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (11:16)	動脈硬化 (186~199) 松本 正幸 松本 昌孝 栗 原 敏 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (11:32)	感染症 (205~209) 山本 俊幸 呼吸器 (210~218) 大久保謙男 佐々木実志 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (11:52)
12:00 評議員会 (12:00~13:00 会場: 全共産ビル6階マツサザロン)			昼 食		
9月30日 (第3日)					
第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
9:00 閉会の辞					
9:30 教育講演 5. 演題 俊一 (明会: 葛谷文男) 6. 金澤唯太郎 (明会: 庄藤英子) 7. 堀松 孝忠 (明会: 藤田 豊) 8. 松沢 浩次 (明会: 吉田 尚) (11:30)	高 血 圧 (219~230) 倉持 剛夫 日和田邦男 大内 訓義 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (10:36)	神 経 (231~249) 小林 祥泰 空崎 謙蔵 金澤 一郎 葛原 茂樹 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (11:32)	臨牀代謝 (250~259) 野藤 康 近野 藤夫 金澤 一郎 林 孝史 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (11:24)	消化器 (268~278) 奥山 山治 馬場 忠雄 深沢 俊男 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (11:08)	骨 格 (284~292) 高橋 祥一 松下 晋 座長 野田 豊 副座長 山之内 博 演題 I (11~20) 松尾 修三 田中 繁道 (10:52)
11:32 閉会の辞					

図1 日本都市センター会場配置図



し同センターにおける1972年から1990年に至るまでの連続剖検約5000例について老年者疾患の病態とその特徴について報告、各種診断法の進歩した現在に於いても精細な臨床的診断の重要であることを強調、満場の感銘を呼んだ。

第1日は引続いて杉村隆氏（国立ガンセンター名誉総長）の「老化とがん」が特別講演Ⅰとして行われた。

次はシンポジウムⅠで「老年者高血圧の病態と治療」と題し5名の演者による研究成果の紹介と追加発言「老年者高血圧治療における患者・医療関係とQOL」が行われた。

第2日は午後1時より平井俊策氏（群馬大学医学部神経内科）の「老年期痴呆」と題する特別講演Ⅱが行われアルツハイマー型痴呆についての最近の知見と研究の成果、併せて脳血管障害の治療を通して得られた脳血管性痴呆の予防と治療について発表された。

同じ特別講演Ⅲとして藤原美定氏（神戸大学医学部放射線基礎医学）は「細胞と老化」と題し熱弁を振るわれたが前日の特別講演Ⅰとも関係あり興味深いものであった。

シンポジウムⅡ「結合組織の老化と動脈」は1. 結合組織研究：最近の進歩 に始まり、2. 内皮細胞、線維芽細胞の老化によるフィブロネクチンの発現上昇、3. 血管の老化と動脈-エラスチンを中心に、4. フィブロネクチンとマクロファージ、5. 血管の老

化と動脈硬化-コラーゲン分布を中心に、6. 弾性線維と血管機能-平滑筋細胞、コラーゲンとの関連-と日頃忘却しがちな基礎的研究の拡がりと深さを確認させるに十分な研究成果の発表であると共に前日のシンポジウムⅠとの繋がりを改めて反省させるものであった。

### 一般演題について

一般演題は厳選された300題近いものであったが循環器関係では金沢医大、循環器内科より1題、同じく老年病科から2題、糖尿病関係では金沢大学第2内科・小松市民病院内科共同研究の1題、金沢医大・老年病科より1題、動脈硬化関係では金沢医大・老年病科より1題、共同研究（大阪大・札幌医大・金沢医大・老年病科、東京大、国立循環器病センター、愛媛大、九州大）1題、が含まれ、珍しい部門として東洋医学が認められた。この部門は老年者疾患に対する鍼治療の有用性を強調したものであり、筑波技術短大、東京大・物療内科、および両者の共同研究による発表であったことを記し今後の成果にも期待したい。

### おわりに

東京都内における久しぶりの学会で成果の多いものであったが、この機会を与えて戴いた正啓会理事長小西秀男院長に深甚なる謝意を表すものである。